

朝日・高根義務教育学校（仮称）整備工事 （LED改修）

図 面 リ ス ト		
図番	図 名	縮 尺
0 1	電気設備工事仕様書 1	—
0 2	電気設備工事仕様書 2	—
0 3	改修前（撤去図） 1 階照明設備図	1/200
0 4	改修前（撤去図） 2 階照明設備図	1/200
0 5	改修後 1 階照明設備図	1/200
0 6	改修後 2 階照明設備図	1/200
0 7	改修後・改修前（撤去） 照明器具一覧表	—
0 8	工事計画工程表	—

【原図は A 2 版とする】

仕様書

電気設備工事仕様書 1

I, 工事概要

1. 工事名称

朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(LEED改修)

2. 工事場所

岐阜県 高山市 朝日町 万石 地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	消防法施行令別表第一	備考
RC校舎棟	棟	RC	2	752.01	7項 () 改修
WA校舎棟	棟	W	2	996.34	7項 () 改修
WB校舎棟	棟	W	2	808.32	7項 () 改修
	棟				7項 ()
	棟				7項 ()

4. 工事項目

() 印内に番号記入のもの及び () 印のみ適用する)

建物名称	RC校舎棟	WA校舎棟	WB校舎棟			屋外その他
工事項目	棟	棟	棟	棟	棟	
○ 高圧受変電設備						
○ 自家発電設備						
○ 幹線設備						
○ 動力設備						
① 電灯設備						
○ 照明設備	○	○	○			
・ コンセント設備						
○ 放送、電気時計設備						
・ 館内放送 設備						
・ 設備						
・ 電気時計設備						
○ 電話設備						
・ 電話用配線設備						
・ LAN用配線設備						
○ 表示、警報設備						
・ トイレ呼出表示設備						
・ 警備保障会社用配管設備						
・ ITV設備						
○ インターホン設備						
○ テレビ共聴設備						
○ 防災設備						
・ 自動火災報知設備						
・ 自動閉鎖装置設備						
・ ガス漏れ警報設備						
・ 誘導灯設備						
・ 非常用照明設備						
・ 非常警報設備						
・ 漏電火災警報設備						
○ 避雷針設備						
○ 構内配電線路(強電)						
○ 構内配電線路(弱電)						
○ 太陽光発電設備						

5. 別途工事

II, 工事仕様

1. 共通仕様

() 印のみ適用する)

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

○ 工事請負契約書

○ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁宮繕部監修)

○ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁宮繕部監修)

○ 公共建築改修工事標準仕様書 令和7年度版 (国土交通大臣官房官庁宮繕部監修)

・ 公共住宅建設工事共通仕様書 令和7年度版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)

○ 内線規程 2022年度版(電気技術基準調査委員会編集)

○ 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様

(項目は番号に () 印記入のもの、選択式の特記事項は () 印のみ適用する)

項目	特記事項
① 適用範囲(1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書(質疑応答を含む)に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁宮繕部監修の公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)、公共建築改修工事標準仕様書(令和7年度版)による。
② 適用範囲(2)	設計図書等間に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書(添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書
③ 法規等の事項	本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。

共通事項

④ 工事実績情報の作成・登録

⑤ 提出書類

⑥ 下請自契約

⑦ 重点監督対象工事

⑧ 事故報告

⑨ 建設工事保険(火災保険含む)

⑩ 損害保険

⑪ 質疑

⑫ 設計変更

⑬ 軽微な変更等

⑭ 施工計画書等

⑮ 手続き

⑯ 実施状況の提出について

⑰ 立会検査

⑱ 使用材料

⑲ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物

21 他工事との取合い

受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。

公共建築工事標準仕様書 第1編 第1章 1-1-4 工事実績情報の登録により、工事受注金額500万円以上の工事について「CORINS」を作成・登録することとする。

高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。

本工事中において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方を高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。下請け業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。

工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。

工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。 加入期間は工事着手より、完成検査引渡しまでの期間を満足すること。

工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。

1) 損害の補填条件
a. 火災、落雷、爆発又は破裂
b. 台風、旋風、暴風、暴風雨の風災

2) 保険金
原則として請負金額とする。

3) 保険の期間
保険の加入の時期は、原則として工事着工のときとし、終期は工事完成後15日までとする。

4) 協議
この取扱いにより難い事項については、必要に応じて請負者は、監督職員と協議するものとする。

本工事の設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなければならない。

建築主の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細な工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない。

各種工事別に機器・機材・工法等を具体的に定めた施工計画書を提出して監督員の承認を得ること。尚、施工計画書に基づいた作業方法等を記載した施工要領書(検査方法も含む)を添付すること。

工事施工完成に必要な諸官庁等への手続は全て受注者の責任とする。

尚、手続費用については受注者の負担とする。

受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について工事完了時までに所定の様式により提出することが出来る。

下記の項目については、監督員の立会検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。

○各種製品検査 ○各種仕上検査 ○工事中間検査及び竣工検査

○本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。

○上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。

○ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の基準を定める。

ホルムアルデヒド	100μg/m³(0.08ppm)以下
トルエン	260μg/m³(0.07ppm)以下
キシレン	870μg/m³(0.20ppm)以下
スチレン	220μg/m³(0.05ppm)以下
エチルベンゼン	3,800μg/m³(0.88ppm)以下
パラジクロロベンゼン	240μg/m³(0.04ppm)以下

○受注者は上記の基準以下であることを別途建築工事が行う検査にて確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準値以上だった場合は、受注者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては受注者の負担とする。

本工事に使用する材料の内、監督員より指示あるものに関してはその成績表を提出するか、又は監督員の承認する試験所で試験を行い、承認を受けなくてはならない。尚試験に要する費用は全て受注者の負担とする。本工事と他工事との取合いは、別紙「工事区分表」による。

共通事項

⑳ 既存との取合い

㉓ 撤去工事

24 再利用機器

㉔ 発生材の処理

㉕ 産業廃棄物の適正処理

27 新築時廃棄物

㉘ 再資源化施設への搬出

㉙ 再生資材計画書及び再生資源利用促進計画書(コプリス・プラス)

30 再生資材の利用

31 残土処分

32 はつり

33 耐震施工

34 あと施工アンカー引抜き試験

35 配線器具

36 フラッシュプレート

37 別途工事

㉚ 工事方法

本工事施工に伴う既存設備の軽微な加工、改造は、本工事とする。

撤去及び取壊し工事は、事前に既存設備の概要を把握し、他に影響が及ばないように充分検討した上で着工する。

撤去した後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。 但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。

引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡し。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の産業廃棄物適正処理の項及び関係法令等に従い適正に処理する。

受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並び確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されている事を確認しなければならない。 廃棄物マニフェストE票を一覧にし提出する。

処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。

混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。

工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。
・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・木屑 ・繊維屑 ・プラスチック屑
○石膏ボード ○鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ガラス・陶磁器屑

建設工事リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了後に同計画書の実施報告書を提出とする。

下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規格	使用場所
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針(日本道路協会)	構内アスファルト
再生クラッシュラン		アスファルト舗装下

・ 構外搬出適切処理
片道の運搬距離() km
注記) 上記については積算上の条件明示であり、提示する条件と異なる場合は監督職員と協議する。

・ 構内指示の場所にたい積する。

・ 構内指示の場所に敷きならす。

・ 構内盛土に利用。

はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員に報告を行うこと。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」(国土

な、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力
機器の重量[kg f]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特定なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	機器(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.5
中層階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	機器(※1)	1.5	1.0	1.0	0.5
地下・1階	防振支持の機器	1.0	0.5	1.0	0.5
	機器(※1)	1.5	1.0	1.0	0.5

【備考】 (※1)：水櫃類には、オイルタンク等を含む。

重要機器 ・発電設備 ・蓄電装置 ・交流無停電電源装置
・配電盤 ・変圧機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

あと施工アンカーの引抜き試験は1ロット毎に行い成績表を提出するものとする。

配線器具は、下記を標準とする。

・大角形連用型 ・ワイドハンドル型 ・
プレートは、下記を標準とする。

・樹脂製(洋風モダン) ・新金属製
・電力会社外線工事負担金 ・光ケーブル(CATV)引込工事
・NTT引込工事、電話配線及び機器工事
・光ケーブル引込工事、LAN配線及び機器工事
・警備保障配線工事及び機器納入、取付
・電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。

・建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。

・分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合はC-25とする)

・配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線(1.2m/mビニル被覆鉄線)を挿入する。

共通事項

㉚ 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。
(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗り)

○ 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。

○ 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。
・FP板(スタイロフォーム等)打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止措置を施す。(外壁部のみ)

○ ジョイントボックス等、配線器具を安装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。

・分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート(樹脂製、エッチング文字)を設ける。

・フロアプレートは砲金製で、水平高低調整リング付とする。

・接地工事は下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値
・ 共同接地	EA、ED	10Ω以下
・ 第A種	EA	10Ω以下
・ 第B種	EB	Ω以下
・ 第D種	ED	100Ω以下
・ 避雷設備	EL	10Ω以下
・ 通信用	EA	10Ω以下
・ 〃	ED	100Ω以下

・ 接地極の附近には接地極埋設標を設け、種別、埋設位置、深さ、埋設年月日、接地抵抗測定値を明記する。

○ 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。
(イ)建築基準法 告示 第3183号に準拠
(ロ)(財)日本建築センター(BCJ)防災評定品の使用

㉛ 工事保証

40 経年検査

㉜ 施工調査

㉝ 工事着手協議

㉞ 電子メールの利用

㉟ 工事書類の簡素化について

㊱ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

㊲ 改修工事注記事項

工事名

朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(LEED改修)

図名

電気設備工事仕様書 1

縮尺

一番号

08枚の内 01号

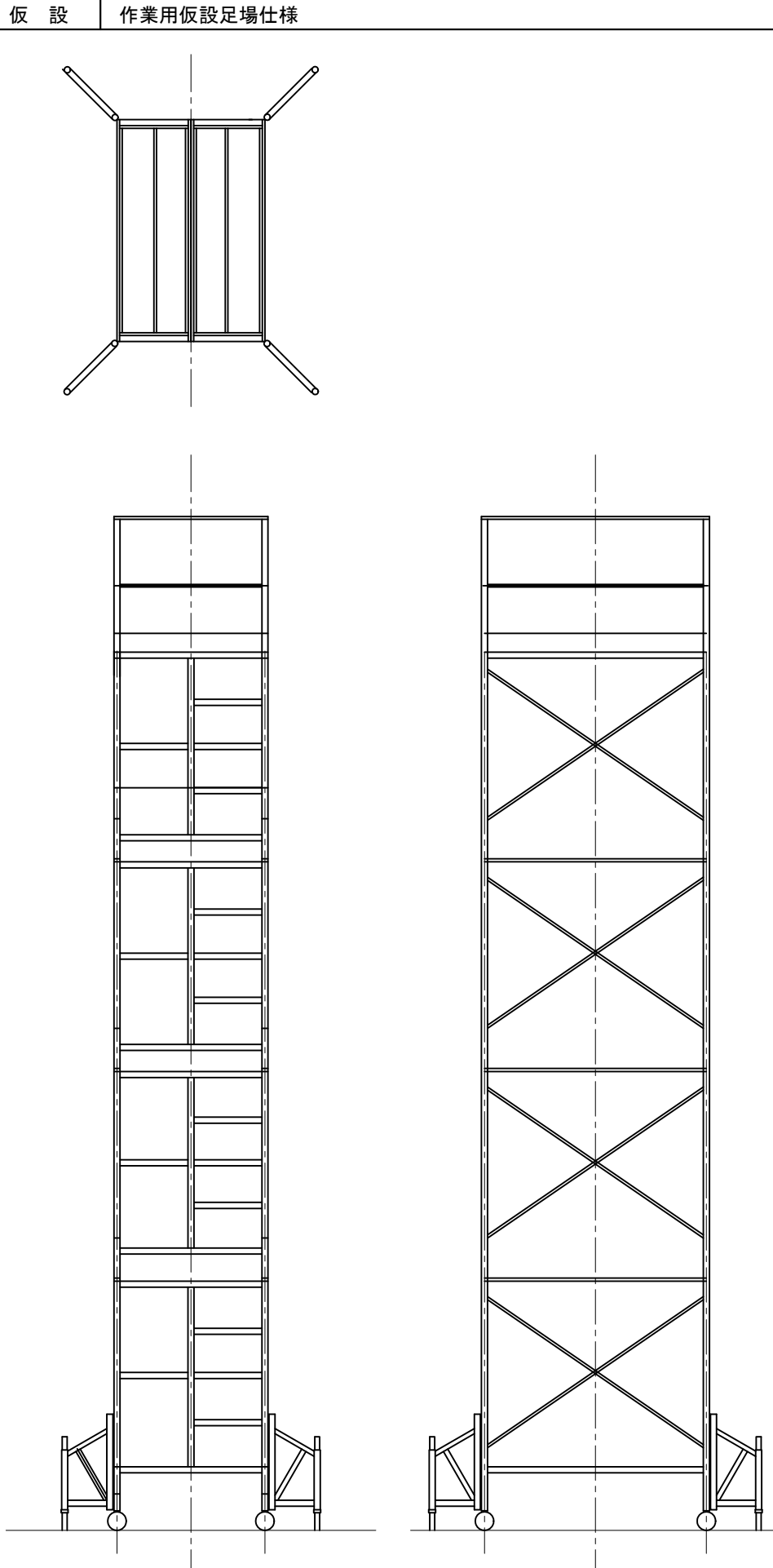
設計年月日

令和8年 3月

設計

有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀







高山市

仕様書		電気設備工事仕様書 2												
共通事項	④ ⑦ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	○ 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。 ○ 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。 ・ 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。 ○ 図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。 ○ 上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。 工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事。 既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事。 本工事は、完全週休二日制工事（現場閉所）とする。詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休二日制工事実施要領」に従うこと。 1）本工事はフレックス工期による契約方式の試行工事であり、受注者は契約日から工事開始期限日までの期間で、任意の日を工事開始日とすることができる。 この場合、契約日から工事開始日の前日までの期間は、主任技術者又は監理技術者、特例監理技術者、監理技術者補佐及び現場代理人を配置することを要しないものとする。 2）受注者は、フレックス工期を活用する場合は次のとおり実施するものとする。 （1）落札決定の通知後、契約締結日までの間で速やかに工事開始日を通知するものとする。 （2）積算にあたっては、契約日を起算日とした工期日数分を工事期間としており、受注者が施工時期を選択することにより生じる経費については、受注者の負担とする。 ○ 別途機器への接続は、本工事とする。 ○ 図面の寸法、形状は参考とする。	○ 自家発電設備	1 電 気 方 式 2 用 途 3 施 工 仕 様 4 そ の 他	単相3線式 200／100V 定格出力： 15KW ・ 非常用（防災設備） ・ 常用（一般電源） ・ 併用 建築基準法に ・ 準拠する ・ 準拠しない 消防法に ・ 準拠する ・ 準拠しない 原動機及び発電機と付属機器間の燃料油及び冷却水等の配管、制御用の配線、機器の調整等は、メーカー責任施工とする。	Ⅲ. 仮 設 工 事					<div>仮 設</div> <div>作業用仮設足場仕様</div> <div></div>			
			○ 幹線設備	1 電 気 方 式 2 配 線 方 法 3 分 電 盤	・ 動 力 三相3線式 200V ・ " 三相4線式 V ・ 電 灯 単相3線式 200／100V ・ " 単相2線式 200V ・ " 単相2線式 100V ・ 鋼製電線管 ・ 合成樹脂可とう電線管（PF） ・ 硬質ビニル電線管（VE） ・ 金属ダクト ・ ケーブルラック ・ 線び配線 ・ ケーブル配線 ・ ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。									
			○ 動力設備	1 電 気 方 式 2 配 線 方 法 3 制 御 盤 4 そ の 他	三相3線式 200V ・ 鋼製電線管 ・ 合成樹脂可とう電線管（PF） ・ 硬質ビニル電線管（VE） ・ 金属ダクト ・ ケーブルラック ・ 線び配線 ・ ケーブル配線 ・ ドアの裏面の充電部には、感電防止処置を施す。 別途機器への接続は、本工事とする。									
			○ 高圧受変電設備	1 電 気 方 式 2 変 圧 器 容 量 3 コンデンサ容量 4 盤 形 式 5 受変電設備基礎 6 接 地 7 そ の 他	① 電 灯 設 備							① 電 気 方 式 2 配 線 方 法 ③ 照明器具の吊ボルト ④ 照明器具の取付 ⑤ 落下防止ワイヤー 6 床付コンセント ⑦ 照度測定 ⑧ 設計照度	○ 単相2線式 200V ○ 単相2線式 100V ・ 鋼製電線管 ・ 合成樹脂可とう電線管（PF） ・ 硬質ビニル電線管（VE） ・ 金属ダクト ・ ケーブルラック ・ 線び配線 ○ ケーブル配線 ・ （イ）吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」によりものとする。 改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする。 （ロ）その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。 （ハ）特殊な照明器具は、上記による他、係員の指示による。 （ニ）照明器具を木、その他可燃物に取付ける場合は、遮熱を考慮する。 照明器具は支持材等を用い構造体に取付とし、垂直方向に光が照射出来るようにするものとする。 落下防止ワイヤーは構造体に支持とする。 ・ ワンタッチ飛び出し型 ・ インナー型 ・ ハイテンション型 ・ フリーアクセスフロアー適合品 照度測定を行い測定結果を係員に提出。（現状・改修後） 照度基準は日本工業規格照度基準 J I S Z 9 1 1 0 - 1 1 に基づき、基準以上の照度とする。	
㊱ 発生材の処分	① 照明器具、安定器配線類 ② 水銀(マルチハロゲン)ランプ 3 高圧受変電設備機器及び配線類	共通事項 26. 産業廃棄物の適正処理 に基づき適切な廃棄処分とする 撤去前に目視による点灯確認の上、正常点灯品のみを段ボールに梱包の上、高山市へ引き渡しとする。 梱包箱には使用していた施設名、ランプの種類、ワット数を記載するものとする。 なお、不点灯品、点灯にチラつきがある物は照明器具同様に廃棄処分とする。 一般共通事項 26. 産業廃棄物の適正処理 に基づき適切な廃棄処分とする。												
Ⅲ. 仮 設 工 事														
項目		特 記 事 項			① 仮 設 計 画		2 工事用水 3 工事電力 ④ 現 地 調 査 ⑤ 掃 除 復 旧 ⑥ 安 全 点 検 ⑦ そ の 他		○ 建物位置と敷地との相対関係、資材搬出入方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を作成し係員の承認を受けること ○ 工事車両の現場進入経路は、近隣の状況を把握し、迷惑を掛けないよう配慮すること。又通学時間は避けるか、進入経路に安全係員を配備すること。 ・ 構内既存の施設 ・ 利用できる（・有償・無償） ・ 利用できない ・ 構内既存の施設 ・ 利用できる（・有償・無償） ・ 利用できない ○ 施工に先立ち既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意事項を明確に監督員へ報告すること。 ○ 工事完了後建物引渡し前に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。 ○ 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧を行う。 ○ 作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。 ○ 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用し、騒音・ほこり・運搬等により付近の住民に迷惑を及ぼさないように対策を十分に講ずること。 ○ 設計図書に記載がなく、工事に必要な仮設・撤去・移設・養生等が発生した場合は係員のもと速やかに対処すること。尚、その費用については請負者の負担とする。					
① 移動式足場仕様		○ 枠組足場 アウトリガー付 ○ 設置台数 2基 ○ 高さは天井高を考慮し、作業に支障無く安全な高さとする。 天井高：9.0m ○ 約15日 ○ 多目的スペースB半面は一般利用のままの作業となる為、日々の作業に於いて作業終了後は支障の無い位置まで移動させるものとする。 ○ 面積は多目的スペースBの半分とし、作業終了後残りの半分へ移設とする。 ○ コンパネ12mm＋ブルーシート			② 設置期間 ③ 作業期間の移動 ④ 床面養生 ⑤ 床面養生仕様		工事名 朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(LED改修) 図 名 電気設備工事仕様書 2 縮 尺 ー 番 号 08 枚の内 02 号 設 計 年月日 令和8年 3月 設 計 有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀 高 山 市							



注記1) 本工事は既設器具の撤去のみとし、吊りボルト及び配線等改修後に使用出来るものは現状のままで再利用とする。

撤去工事 凡例

- | | |
|---|--------------------------|
|  | 配線、配管 配管現状のままを示す。 |
|  | 配線：撤去、配管：撤去又は現状のまま廃止を示す。 |
|  | 配線：撤去、配管：再利用を示す。 |
|  | 機器 現状のままを示す。 |
|  | 撤去 機器を示す。 |
|  | 取外し（再利用） 機器を示す。 |

凡例

- | | | | | |
|--------------------------|-------|-------------|----------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | COS-1 | 照明器具昇降装置操作盤 | 昇降回路：1回路 | 鋼板製 W：300、H：300、D：120 |
| <input type="checkbox"/> | COS-2 | 照明器具昇降装置操作盤 | 昇降回路：2回路 | 鋼板製 W：300、H：300、D：120 |

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(LEID改修)		
図 名	改修前(撤去図) 1階 照明設備図		
縮 尺	1/200	番 号	08 枚の内 03 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



撤去工事 凡例

配線、配管 配管現状のままを示す。

配線：撤去、配管：撤去又は現状のまま廃止を示す。

配線：撤去、配管：再利用を示す。

機器 現状のままを示す。

撤去 機器を示す。

取外し（再利用） 機器を示す。

凡例

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(ＬＥＤ改修)		
図 名	改修前(撤去図) 2階 照明設備図		
縮 尺	1/200	番 号	08 枚の内 04 号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大辻登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



注記1)	本工事は器具の取替えと、吊りボルト及び配線等は既設設備を再利用とする。
注記2)	施工前調査を充分に行い既設器具大さ、取付ボルト位置、埋込開口寸法を再度確認し適合した器具を選定とする。
注記3)	天井埋込型器具に於いて既設開口穴に適合する器具が無い場合は器具廻りの天井貼替等を行い器具を取付とする。
注記4)	照明点滅パターンに於いて施工前に監督及び学校と打合せを行い新規配線工事が無い範囲での点滅パターンの組替は本工事で行う事とする。

工事 配線、配管を示す。

配線、配管を示す。

工事 機器を示す。

機器を示す。

し既設機器 再取付を示す。






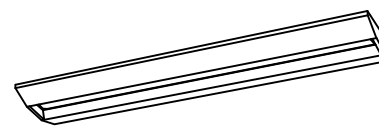
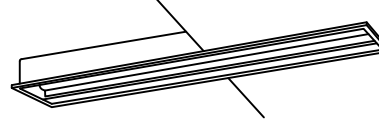
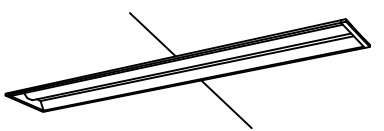
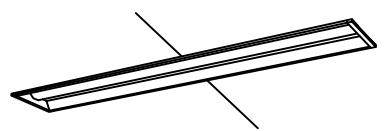
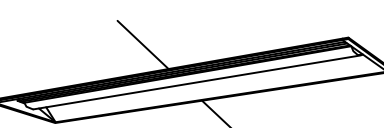
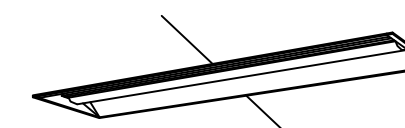



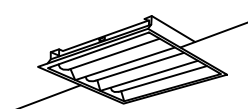
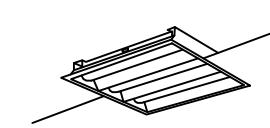
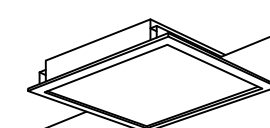
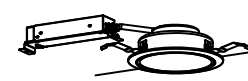

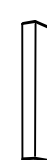

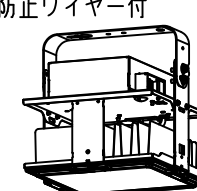
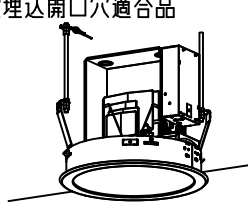
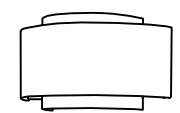
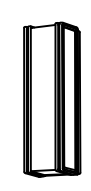
配線に接続を示す。

品に新設配線接続を示

凡例

[illegible]

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(ＬＥＤ改修)		
図 名	改修後 2 階 照明設備図		
縮 尺	1/200	番 号	08 枚の内 06 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

改修後		照明器具一覧表		※１ 姿図及び品番は参考とする		※２ 施工前調査に於いて既設器具大きさ、取付ボルト位置、埋込開口寸法を再度確認し適合した器具を選定とする。		改修前(撤去)		撤去 照明器具一覧表					
A161H	LED×1(11.6W) (昼白色) 1600lm (FHF16W×1高出力相当)	B321H	LED×1(20.3W) (昼白色) 3200lm (FHF32W×1高出力相当)	B322N	LED×1(31.W) (昼白色) 5200lm (FHF32W×2定格出力相当)	B322H	LED×1(43.1W) (昼白色) 6900lm (FHF32W×2高出力相当)	C321H	LED×1(20.3W) (昼白色) 2860lm (FHF32W×1高出力相当)		記 号	名 称	形 状	撤去内容 【既設(保留)	現状のまま
	LSS9-2-15		リニューアル用器具		リニューアル用器具		リニューアル用器具				a201	FL20W×1	直付型 逆富士型 FSS4-201	○	
											b401	FL40W×1	直付型 逆富士型 FSS4-401	○	
	MODEL) 直付XFx210AEN LE9		MODEL) 直付XFx439DEN LE9		MODEL) 直付XFx459DEN LE9		MODEL) 直付XFx469DEN LE9		MODEL) 直付XFx4356EN LE9		c402	FL40W×2	直付型 カバー付 スクールコンフォート	○	
	本体 鋼板(白色粉体塗装) W:150 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:230 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:230 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:230 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体・反射板 鋼板(白色粉体塗装) W:230 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		d321	FHFL32W×1	直付型 カバー付 スクールコンフォート	○	
C322H	LED×1(43.1W) (昼白色) 6180lm (FHF32W×2高出力相当)	D321H	LED×1(20.6W) (昼白色) 2790lm (FHF32W×1高出力相当)	E321H	LED×1(20.3W) (昼白色) 3200lm (FHF32W×1高出力相当)	E402	LED×1(25.0W) (昼白色) 3880lm (FL40W×2相当)	F402	LED×1(25.0W) (昼白色) 3880lm (FL40W×2相当)		d322	FHFL32W×2	直付型 カバー付 スクールコンフォート FSS7-322	○	
	LSS7-4-56		埋込型黒板灯 LRS8-4-26 ※既設と開口寸法が違う為、器具廻りの天井材を張替の上取付		リニューアル用器具		リニューアル用器具		リニューアル用器具 LRS20-4-37		e401	FL40W×1	直付型 黒板灯	○	
											f401	FL40W×1	埋込型 黒板灯 FRS10-401	○	
	MODEL) 直付XFx4656EN LE9		MODEL) 埋込XFx431BSN LE9		MODEL) 埋込XFx439REN LE9		MODEL) 埋込XFx449REN LE9		MODEL) 埋込XFx449VEN LE9		g401	FL40W×1	埋込型 下面解放型 FRS2-401	○	
	本体・反射板 鋼板(白色粉体塗装) W:230 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:220 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 亜鉛鋼板 反射板 鋼板(白色粉体塗装) W:190 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 亜鉛鋼板 反射板 鋼板(白色粉体塗装) W:190 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 亜鉛鋼板 反射板 鋼板(白色粉体塗装) W:300 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		h402	FL40W×2	埋込型 下面解放型 FRS2-402	○	
F322H	LED×1(43.1W) (昼白色) 6680lm (FHF32W×2高出力相当)	G322H	LED×1(43.1W) (昼白色) 6770lm (FHF32W×2高出力相当)	H161H	LED×1(11.6W) (昼白色) 1600lm (FHF16W×1高出力相当)	I321H	LED×1(20.3W) (昼白色) 3200lm (FHF32W×1高出力相当)	J323	LED×1(44.0W) (昼白色) 6550lm (FHP32W×3相当)		i402	FL40W×2	埋込型 下面アクリルパネル付 木枠	○	
	リニューアル用器具 LRS20-4-65		リニューアル用器具		LSS1-2-15		リニューアル用器具		既設埋込開口穴適合品		k402	FL40W×2	直付型 反射笠付 FSR1-402	○	
											l201	FL20W×1	壁付型 片反射笠付 FBS3-201	○	
	MODEL) 埋込XFx469VEN LE9		MODEL) 直付XFx469KEN LE9		MODEL) 直付XFx210NEN LE9		MODEL) 直付XFx439NEN LE9		MODEL) 埋込XL373PEVJ LA9		m401	FL40W×1	壁付型 片反射笠付 FBS3-401	○	
	本体 亜鉛鋼板 反射板 鋼板(白色粉体塗装) W:300 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:150 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:80 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 鋼板(白色粉体塗装) W:80 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体・枠 鋼板(白色粉体塗装) 450×450 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		n201	FL20W×1	壁付型 カバー付 FBC1-201	○	
J324	LED×1(50.0W) (昼白色) 7960lm (FHP32W×4相当)	K454	LED×1(78.0W) (昼白色) 11260lm (FHP45W×4相当)	L150	LED×1(11.6W) (昼白色) 1695lm (FHT32W×1相当)	M150	LED×1(11.6W) (昼白色) 1665lm (FHT32W×1相当)	N161H	LED×1(14.9W) (昼白色) 1480lm (FHF16W×1高出力相当)		o401	FL40W×1	壁付型 カバー付 防雨型 FBC2RP-401	○	
	既設埋込開口穴適合品		既設埋込開口穴適合品		埋込穴:150φ 光源:拡散型 既設埋込開口穴適合品 LRS1-13		埋込穴:150×150 光源:拡散型 既設埋込開口穴適合品		防湿・防雨型 LBF3MP/RP-2-13		p363	FPL36W×3	埋込型 下面ルーバー付 スクエア型 FRL5-P363	○	
											q554	FPL55W×4	埋込型 下面アクリルパネル付 スクエア型	○	
	MODEL) 埋込XL374PEVJ LA9		MODEL) 埋込XL585PFV LA9		MODEL) ダウンライト XND1569WN LE9		MODEL) ダウンライト XND1590SN LE9		MODEL) NNFw21810C LE9		r131	FDL13W×1	ダウンライト 丸型 下面解放型 FRS11-D131	○	
	本体・枠 鋼板(白色粉体塗装) 450×450 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体・枠 鋼板(白色粉体塗装) パネル アクリル(乳白) 600×600 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		反射板(上部) プラスチック(ホワイト) 反射板(下部) 鋼板(ホワイトつや消し仕上) 枠 鋼板(ホワイトつや消し仕上) ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		反射板(上部) プラスチック(ホワイト) 反射板(下部) アルミダイカスト(シルバーメタリックつや消し仕上) 枠 アルミダイカスト(ホワイトつや消し仕上) ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 ステンレス カバー ポリカーボネート(乳白) ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		r181	FDL18W×1	ダウンライト 丸型 下面解放型 FRS11-D181	○	
O321H	LED×1(27.0W) (昼白色) 2980lm (FHF32W×1高出力相当)	P2000	LED×1(112.0W) (昼白色) 21300lm (MF400W×1相当)	Q2000	LED×1(130.5W) (昼白色) 17000lm (MF400W×1相当)	R602	LED×1(9.7W) (昼白色) 641lm (IL60W×2相当)	S401	LED×1(6.1W) (電球色) 375lm (IL40W×1相当)		s181	FDL18W×1	ダウンライト 角型 下面解放型	○	
	防湿・防雨型 LBF3MP/RP-4-26		広角型 落下防止ワイヤー付		埋込穴:400φ 光源:拡散型 既設埋込開口穴適合品				防雨型		t2501	JD250W×1	ダウンライト 丸型 下面解放型 電動昇降機内蔵	○	
											x5001	JD500W×1	直付型 スタジオ用スポットライト	○	
	MODEL) NNFw41810C LE9		MODEL) NYW20222 LR9		MODEL) 高天井ダウンライト XND9940FSK LR9		MODEL) LQB81565 LE1		MODEL) LGW80405 LE1						
	本体 ステンレス カバー ポリカーボネート(乳白) ボルトフリー(100~242V) 光源寿命40000時間(光束維持率85%)		本体 アルミ パネル ポリカーボネート(透明) アーム 亜鉛鋼板 ボルトフリー(100~242V) 光源寿命60000時間(光束維持率85%)		枠 鋼板(ホワイトつや消し仕上) パネル アクリル(乳白つや消し) ボルトフリー(100~242V) 光源寿命60000時間(光束維持率80%)		カバー アクリル(乳白)、(ホワイト) 上面カバー付 100V専用型 光源寿命40000時間(光束維持率70%)		本体 アクリル(乳白) 枠 プラスチック(オフブラック) 本体 プラスチック(オフブラック) 100V専用型 光源寿命40000時間(光束維持率70%)						

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(LED改修)			
図 名	改修後・改修前(撤去) 照明器具一覧表			
縮 尺	—	番 号	08 枚の内 07 号	
設 計 年月日	令和8年 3月			
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀			
高 山 市				

